

22 番	白井 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、消防新庁舎の建設と土地購入の経緯について</p> <p>【質問趣旨】 平成 29 年 8 月、瀬戸市は、現在の消防庁舎が築 50 年近く経過し、建物の老朽化が著しいことから、建替えるため、市役所庁舎西隣の土地を最適地として、土地開発公社が先行取得して、令和 3 年度に、瀬戸市が約 4 億円で買い戻しをしています。 その後、消防新庁舎の建設は中断する中、当該土地の購入に至る経緯が明確でない点について当局に問うものである。</p>	<p>(1) 消防庁舎の老朽化及び現機能について</p> <p>(2) 消防新庁舎の建設計画と指令センターの共同運用について</p>	<p>① 瀬戸市は、現在の消防庁舎（消防本部・消防署）が、もうすぐ築 50 年を迎え、建物の老朽化が著しいことから、適地選定調査に基づき建替え移転のため市役所西隣の土地を購入していますが、現消防庁舎の老朽化の状況はどのようなか伺う。</p> <p>② 現在の消防庁舎は、平成 13 年 1 月に耐震補強を施してはいるが、建物だけでなく、トイレや水道設備等の老朽化も著しい状態であると聞かすが、当該庁舎の使用はいつ頃まで可能なのか伺う。</p> <p>③ 苗場町にある現消防庁舎は、用地約 3243 ㎡であるが、消防本部としての機能や車両、倉庫等十分な広さは確保されていると理解しておいて良いか。</p> <p>① 平成 29 年 11 月、中期事業計画において、消防庁舎の用地については土地開発公社で先行取得することになった。新たな消防庁舎の整備スケジュールは、平成 30 年度に土地取得、令和 2 年度に設計、令和 3 年度・4 年度に庁舎建設工事、令和 5 年度に消防指令システムを更新し、令和 6 年 4 月に運用を開始する計画であった。計画変更を含め予定が大きくずれ込んでいるが、今後どのようにするのか伺う。</p> <p>② 令和 3 年度中期事業計画での「9 款消防費の重点事業」については、名古屋市等との消防指令業務共同運用以外に消防新庁舎の記載がされていないが、中期事業計画の意思形成では、どのような議論が行われたのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

22 番	臼井 淳議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 令和元年9月に中期事業計画の仮内示を受け、消防庁舎建設と指令センター全更新の今後の方針について、消防本部、経営戦略部、行政管理部で意思確認を行い、予算については、厳しい査定の結果ゼロ査定とした。理由は、晴丘センターのオーバーホール等、今後大きな事業が計画されており、公債費の増加が予測され、公共施設等整備基金も数年後にはゼロになる見込みであるためとしている。つまり財源確保の見通しが厳しいことを示すものであるが、この点をどのように理解すればよいのか伺う。</p> <p>④ 平成30年8月の計画では、消防新庁舎の整備費は、設計業務委託費、土地購入費、建設費等を含め約19億7820万円とされているが、現在では、消防新庁舎に係る整備費用の見積もり額と財源内訳及び返済はどういう計画であるのか伺う。</p> <p>⑤ 消防新庁舎の建設用地は、現消防庁舎の敷地面積の約7割の広さでしかないが、消防署(本部)の機能として支障はないのか伺う。</p> <p>⑥ 令和2年10月、本市消防本部は、名古屋市等との消防指令業務の共同運用の基本協定を締結している。以前の瀬戸尾張旭消防本部指令システムの全更新(整備費約8億2742万円)する計画から変更して、名古屋市等との共同運用に至った理由について伺う。</p> <p>⑦ 令和7年4月から共同運用予定の当該システム更新の概算整備費は74億7284万円とその他諸々で約80億円近くになり、維持費は年間約6億1675万円としているが、本市の負担分と共同運用のメリットとデメリットについて伺う。</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

22 番	臼井 淳議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 消防新庁舎の土地取得の経緯について	<p>⑧ 消防庁舎は、都市基盤の一つであり、本部組織がどのように編成されようが不可欠なものである。老朽化が著しい現庁舎の状況を考えれば、いつ建設に向けた決定をするのか伺う。</p> <p>① 平成 29 年 5 月、消防新庁舎の整備に係る適地選定調査を外部の(社)消防防災科学センターに依頼した結果「新共栄橋北交差点付近」の候補地を複数選出しているが、なぜ「新共栄橋北付近」が適地としたのか、他の対象候補地は考えられなかったのか伺う。</p> <p>② 同年 7 月に、4 か所の候補地の中から適地(消防庁舎用建設)を決定しているが、4 か所の対象候補地はどのように選んで、敷地面積は妥当な広さであったのか伺う。</p> <p>③ 消防新庁舎用地の 4 か所の対象候補地について、対象候補地の所有者には、事前に候補地の対象となることの話し合いや協議の打診はしていたのか伺う。</p> <p>④ 4 か所の対象候補地が、建設用地として適地であると思決定された場合には、土地取得の可能性は有ったのか伺う。</p> <p>⑤ 瀬戸市は、すでに平成 29 年 9 月 21 日には、適地選定調査結果に基づいて、約 2337 m²の土地を建設用地として、消防新庁舎整備 4 億 2167 万 3 千円の事業を土地開発公社に依頼しているが、取得する緊急性や必要性はあったのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

22 番	臼井 淳議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑥ 消防新庁舎の建設地については、土地開発公社が先行取得する中で、土地所有者といつからどのように交渉を行っていたのか伺う。</p> <p>⑦ 土地開発公社が当該土地を取得するため、土地所有者から所有権移転を行う上で敷地内の埋設物のボーリング調査や金融機関に根抵当権が設定されているなど、どのような土地売買契約の手続きが行われたのか伺う。</p> <p>⑧ 当該土地の売買にあたっては、どのような制約や条件があったのか伺う。</p> <p>⑨ 瀬戸市は、当該公社から土地を買い戻すため、用地費約1億8952万円と物件移転補償費約1億9660万円を支出したことになるが、土地㎡当たり価格や物件移転補償費等の詳細な内訳の説明を求める。</p> <p>⑩ 地権者への物件移転補償金については、7項目と内容・数量によって補償金が算定されているが、7項目とその内容についてどのようなものなのか伺う。</p> <p>⑪ 当該土地の所有者は、土地売買契約の手続きで、税控除の措置や当該地で操業していた法人を解散し、その後精算されているが、土地取得に向けた交渉において、何ら支障もなく順調に契約が締結された印象を受けるがどうであったのか伺う。</p> <p>⑫ 現在、消防新庁舎建設用地を暫定的に公用車駐車場として使用しているが、当該土地の買収において税控除の特例が適用されている。暫定期間が何年続いても問題が生じることはないのか伺う。</p>

(4 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

22 番	臼井 淳議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2、開校後の瀬戸 SOLAN 小学校について</p> <p>【質問趣旨】 開校した瀬戸 SOLAN 小学校について、特区法に基づき、第 1 回学校審議会が開催された。 議題は、学校評価項目や開校までの経緯、学校運営計画など、審議及び意見聴取がされたが、一部審議内容について疑問があることと、無償譲渡された旧本山中学校校舎の状況について当局に問うものである。</p>	<p>(1) 当該学校審議会では、どんな議論が行われたのか。</p> <p>(2) 旧本山中学校の校舎建物に根抵当権が設定されていることについて</p>	<p>① 昨年6月瀬戸市は、(株)教育システムに対し、学校設置を許可したが、学校審議会から、4項目の附帯意見が出され、その中で「健全な財務体質を維持するために想定入学定員数の確保に努め開校後は運営計画と実績の差異を確認、分析すること。」とある。瀬戸 SOLAN 小学校の入学者数は38人となり、当初予定を大きく下回っているが、瀬戸市は、(株)教育システムから、この点について、どのような報告を受けていたのか。</p> <p>② 瀬戸市及び国際未来教育特区学校審議会による学校評価について、先日5月24日に開催した当該学校審議会で示された学校設置会社の業務・財産の状況の公開に関する評価項目は、内閣府、文部科学省からの通知や文科省省令から一部取り上げられていない項目があるが、何故なのか伺う。</p> <p>① 無償譲渡された旧本山中学校の校舎建物に、令和2年7月金融機関の根抵当権が設定されているが、瀬戸市及び土地所有者(愛陶工)は了承しているのか、事前に相談や連絡は受けていたのか伺う。</p> <p>② 土地所有者とは別人格が、当該建物の所有者となり、更に、第三者による根抵当権が設定されたとなれば、その土地については、土地所有者及び土地を借りている瀬戸市の自由な土地利用が制限されることになるが、全く問題はないと考えているのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。